

令和7（2025）年度 学校評価アンケート集計結果【生徒】（R6とR7の比較）

○実施期間 令和8年1月6日～14日 回答率：99%（223/226）

評価方法（A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない）

①値はそれぞれ%に変換して比較 ②回答数 R6（180/214 84%） R7（223/226 99%）

項目	観 点	A		B		C		D		
		R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	
学校生活	1	私の宜野座高校での生活は楽しく、入学してよかったと思っている。	60	55	32	37	7	5	1	3
	2	私は、学校生活の充実と進路実現に向けて学習や行事、部活動等に頑張っている。	59	51	33	38	7	9	1	1
	3	先生方は、生徒理解に努めており、悩み事も相談しやすい。	54	53	39	42	6	4	1	1
学習生活	4	先生方は、教材を工夫したりタブレット等を活用したりしてわかりやすい授業を実施している。	54	53	39	41	4	5	2	1
	5	先生方は、授業の質問や学習相談にのってくれる。	63	53	33	44	3	3	1	0
	6	私は、学習規律を守り、真面目に授業に取り組んでいる。	64	60	31	36	4	3	1	1
	7	私は、日常的に図書館を利用している。	16	16	13	9	35	19	36	55
生徒指導	8	私は、身なりをきちんとし、あいさつ、ていねいな言葉遣いができている。	0	55	0	42	0	2	0	1
	9	私は、学校の校則に関する指導のあり方に納得している。	0	48	0	42	0	7	0	4
	10	先生は、生徒の人権を尊重し、暴言や体罰はない。	74	72	22	24	3	3	1	1
	11	学校は、いじめや嫌がらせにきちんと対応している。	61	57	36	39	3	4	1	1
進路指導	12	私は、生徒の進路希望の早期決定、実現に取り組んでいる。	46	61	35	36	16	3	3	0
	13	学校は、進路希望に応じた対応（講座・小論指導・面接指導等）をしている。	56	62	40	36	3	1	1	1
	14	学校は、生徒へ進路に関する情報提供に努めており進路相談に細かく対応している。	58	62	39	36	3	1	1	1
特別指導	15	学校は、各種行事も充実し、HR活動や生徒会活動は活発である。	60	59	37	39	2	1	1	1
	16	私は、部活動や同好会活動に積極的に参加している。	57	46	14	29	6	12	23	13
	17	先生や部活動指導者は、日頃の言動について、生徒の人権に配慮した対応を行っている。	59	58	37	38	3	3	1	1
健康安全	18	学校は、薬物等（喫煙・飲酒・薬物）に関する指導に努めている。	74	70	23	28	2	1	1	0
	19	学校の保健室は利用しやすく、生徒の心身の健康管理に努めている。	66	61	31	38	2	1	1	0
	20	学校は事件・事故防止のための安全指導に努めている。	68	65	30	33	2	1	1	1
環境整備	21	学校は、施設、設備面においても安全、清潔である。	56	52	38	42	5	5	1	2
	22	学校の美化活動は盛んで学習環境が整備されている。	57	53	39	43	4	3	1	1
	23	私は、学校の備品、施設・用具をていねいに扱っている。	89	68	26	30	2	1	1	0
PTA関係	24	私は、学校やPTAからの連絡や文書は保護者にしっかり届けている。	57	55	39	36	4	6	1	2
地域連携	25	私は、地域行事や地域活動に積極的に参加している。	43	40	34	36	15	15	8	9

①R7の生徒アンケートは回答率が84%から99%へ上昇し、結果の信頼性が高い。全体として肯定（A+B）は高水準を維持し、学校生活・授業・相談体制に関する評価は概ね安定している。②一方、全体的に見ると、複数項目で「強い肯定（A）」が減り「だいたい肯定（B）」が増える傾向が見られ、「取組の質や実感の度合いを点検する必要」がある。③個別的看着ていくと、昨年度に対して、改善が最も明確なのは進路であり、No12「早期決定・実現」は否定（C+D）が大幅に減少し、成果が表れている。学校の進路支援（No13・14）も高評価を維持している。④今年度の結果から、次年度の課題として早急に取り組むべきものは、図書館利用（No7）である。否定が高止まりし、特にDが増加している。⑤あわせて、家庭への連絡に関する項目では生徒側でも否定が増えており、保護者評価でも課題となった「情報到達」と連動する傾向がある。⑥次年度は、図書館利用の習慣化、進路指導の成果の定着、家庭への情報到達の改善を柱として、それぞれ担当部署ごとにチェック方法を工夫しながら、短い周期で点検と改善に向けた取り組みを行う必要がある。